

ICT利活用による国土交通分野のイノベーションの推進

(参考)

「美しい国創り」に向けての重要課題

- 「イノベーションの力」による安定的経済成長
- 安全・安心で豊かな社会の構築
- 「頑張る地方」の応援
- 簡素で効率的な「筋肉質の政府」の実現 等

ICTの利活用による課題解決の可能性

- ICT基盤整備の急速な進展・ユビキタス環境の出現
(例) インターネット人口約8,529万人、うちブロードバンド人口約2,330万人
携帯電話契約数約9,179万件、うち第3世代携帯約4,833万件
ETC車載器搭載車両数約1,514万台(利用率65%)
- 諸課題解決に向けたICT基盤の利活用が不十分

国土交通省に期待されるICT利活用を通じた課題解決分野

○ヒト・モノ・クルマの流れの円滑化

- (例) 歩行者の快適な移動環境の実現
 - ・持続可能・安全な都市交通システムの形成
 - ・国際・都市物流システムの効率化



○地域の活性化の推進

- (例) 「電子国土」の整備と併せた保有情報の積極的提供
 - ・まちづくり等への市民参加の促進
 - ・観光振興に向けた取組支援



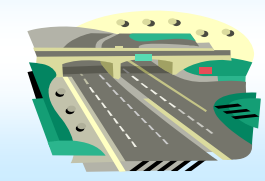
○安全・安心で豊かな生活環境の実現

- (例) 防災・防犯・テロ対策の高度化
 - ・障害者・高齢者や新婚・子育て世帯にも優しいまちづくり、住宅の整備
 - ・テレワークの推進



○社会資本整備・管理の効率化

- (例) 光ファイバーネットワーク等、所管IT基盤の効率的活用
 - ・CALS/ECの推進
 - ・維持管理手法の高度化



大綱策定の必要性

「国土交通分野イノベーション推進本部」(本部長:事務次官)を設置し、

- ・分野・主体横断的に施策を推進するため、来年5月を目処に「国土交通分野イノベーション推進大綱」(仮称)を策定し、目標年次を記載した「工程表」に基づき計画的に施策を推進。
- ・その後も、推進本部においてPDCAサイクルによる**不断の見直し**を実施。

国土交通分野のイノベーションの推進体制

国土交通分野イノベーション推進本部

本部長：安富国土交通事務次官

- ・ 省幹部、全局長等により構成
- ・ 来年2月を目処に中間的とりまとめを行った後、5月を目処に「国土交通分野イノベーション推進大綱」（仮称）を策定

提言

国土交通分野イノベーション検討委員会

委員長：安富国土交通事務次官

- ・ 省幹部に加え、学識経験者6名※により構成

※ 浅野 正一郎(国交省CIO補佐官)、家田 仁(国土交通行政全般)、川嶋 弘尚(ITS)、坂村 健(電子コード)、柴崎 亮介(地理空間情報)、中村 文彦(都市交通) (以上、敬称略)

- ・ 各局等の新規施策、民間の提案事業の双方について審議
- ・ ICTの利活用による国土交通分野のイノベーションに向けた今後の省としての取り組みの方向性を検討し、推進本部へ提言
- ・ 機動的・頻繁に開催し、より詳細な議論を行う

○策定後、恒常的な組織として存続

○各局等の取組をフォローアップ

推進本部においてPDCAサイクルによる不断の見直しを実施。

「国土交通分野イノベーション推進本部」スケジュール

18年10月～11月	推進本部を3回開催。学識経験者・民間事業者から最新のICTの動向、国土交通省への提案等を聴取。並行して、民間からの事業提案を募集。各局等は新規施策を検討。
12月～19年2月	委員会を5回、推進本部を1回開催。各局等の新規施策、民間の事業提案について審議。施策の方向性について中間的取りまとめ。
3月	公開カンファレンスを開催。一般国民からの意見を広く聴取。
4月～5月	委員会・推進本部を複数回開催。大綱のとりまとめと平成19年度におけるフィージビリティ調査対象事業の選定を行う。

※政府における「イノベーション25」の検討、社会資本整備審議会における次期重点計画の検討とも適宜連携